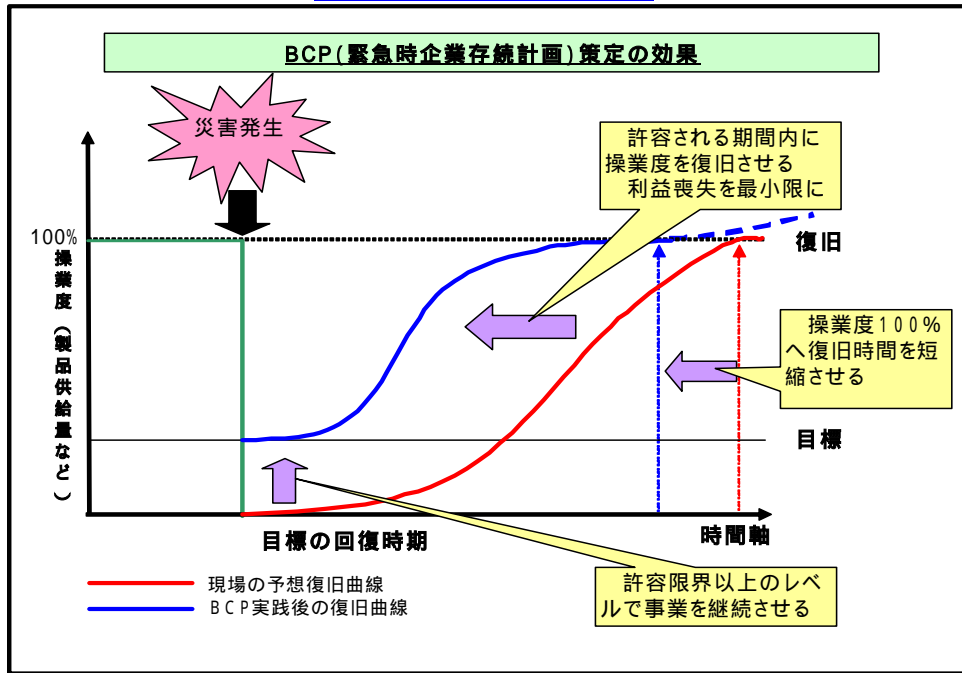


中小企業 BCP (緊急時企業存続計画)への取組について ～ 緊急事態からの早期復旧プラン～

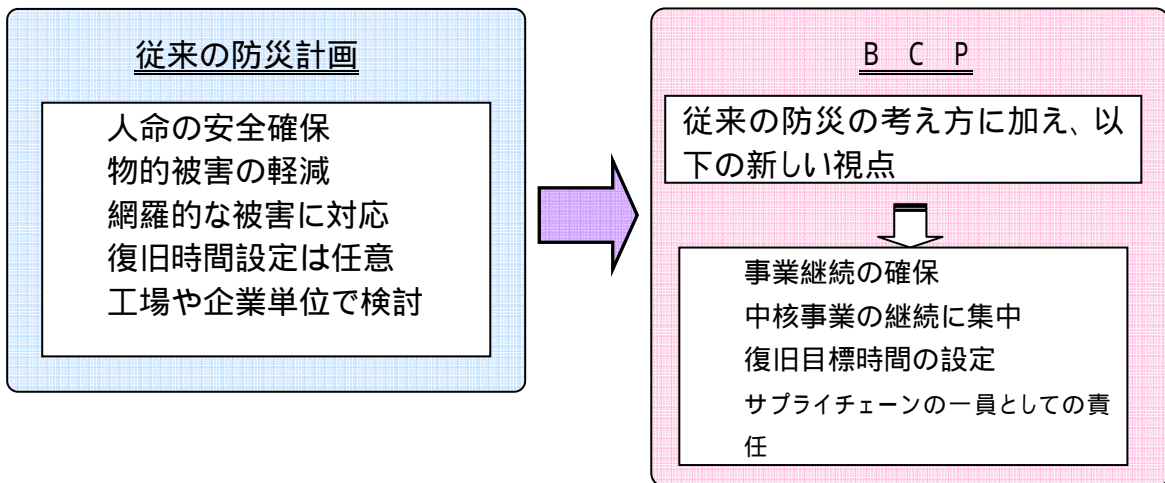
あなたの会社が地震災害や風水害に遭ったら、事業所で火災が起きたら、中小企業はどうしたら生き残れるか？

BCPとは、企業が災害や火災等の緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧を可能とするため、事前に取り決めておく計画のことです。

BCP 導入効果のイメージ



従来の防災対策を基に策定！



BCP策定の背景

リスク対応

- ・ 地震、台風、水害等の多発
- ・ IT障害、コンピューターウイルス

企業の相互連携

- ・ 分業化によるサプライチェーンの進行
- ・ 効率化のための調達先の絞り込み

CSR(企業の社会的責任)

- ・ 地域、従業員、株主、取引先等からの信頼確保の要求

国内外の標準化

- ・ BCPガイドラインの公表
- ・ ISO規格化への動き

BCP策定のメリット

対外的なメリット

- ・ 防災・危機管理に取り組んでいる企業として、市場や社会の中で信頼を得られる。
- ・ 顧客・取引先からの安定供給の要請に応えることが可能となる。
- ・ 災害・事故等の発生時の地域貢献活動や平時の防災活動支援はCSRの活動として評価される。

社内的なメリット

- ・ 災害発生時に、事業中断を最小限とし、被害や事業中断の影響を抑えられる。
- ・ 自社の事業・業務など再認識できる。
- ・ 経営者と従業員との間での重大なリスクに関する問題意識の共有が図れる。

BCP策定のポイント

これまでの防災計画は、従業員の生命と会社の財産を守ることが主な目的でした。BCPは、従業員の生命と会社の財産を確保した上で、事業の継続・早期復旧に努めることで、会社が緊急事態を生き抜くための計画です。

1 緊急時において優先して継続・復旧すべき中核事業を特定します。

緊急時、人材や設備、資金が制約されます。事業を絞り込むことが企業存続の近道です。

2 緊急時において中核事業を復旧する目標時間を定めておきます。

目標がないと適切な行動を起こすことができません。緊急時に被害状況を判断して再設定します。

3 中核事業や目標復旧時間について顧客等取引先と予め協議しておきます。

共通認識があると効果的な対策が可能です。緊急時、顧客との迅速・円滑な連絡が肝心です。

4 事業拠点や生産設備、仕入品調達等の代替策を用意しておきます。

緊急時の使用不能に備え、可能な範囲で用意します。コンピュータのバックアップも重要です。

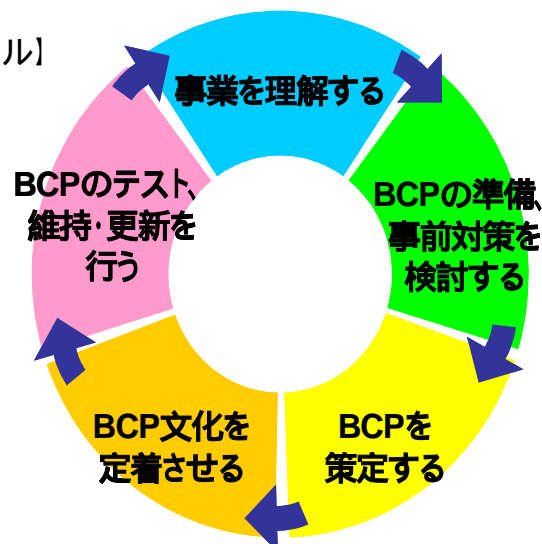
5 全ての従業員とBCPの方針や内容について話し合っておきます。

緊急時、経営者はどう行動するつもりか、従業員にどう行動して欲しいか、知らせておきましょう。

BCPは、一度、策定すればよいものではありません。従業員の教育・訓練を行ったり、定期的に計画を見直したり、「BCPサイクル」に従って継続的に改善することが大切です。

そして、はじめから完璧なBCPを求めるのではなく、「BCPサイクル」を継続的に実践することによって、徐々に緊急事態に強い体制を充実させることが重要です。

【BCPサイクル】



BCPを自己診断！

BCPの策定・運用に向けて、企業の現在の状態を自己診断します。「はい」の数が少ない分野を認識した上で、BCPに取り組みましょう。

表 自己診断チェックリスト

区分	設 問	はい	いいえ	不明
人的資源	緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための適切な災害対応計画を作成していますか？			
	災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたは従業員と連絡を取り合うことができますか？			
	定期的に避難訓練を実施していますか？			
	初期救急や心肺蘇生法の訓練を受けた従業員がいますか？			
物的資源 (モノ)	あなたのビルは自然災害の衝撃に耐えることができますか？ そして、ビル内にある機器類はその衝撃から保護されますか？			
	あなたのビルへの部外者の侵入を阻止するために、外部塙やフェンスおよび入ロドアや窓の保全を定期的にチェックしていますか？			
	あなたの会社周辺の地震や洪水の被害に関する危険性を把握していますか？			
	あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？			
物的資源 (金)	1週間または1カ月間程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？			
	あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切であるかどうかを決定するために保険専門家と相談しましたか？			
	事前の災害対策や被災時復旧を目的とした融資制度を把握していますか？			
	1か月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？			
物的資源 (情報)	情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？			
	自社オフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？			
	換業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？			
	主要顧客や各種公共機関への連絡先リストを作成していますか？			
事業継続計画	あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？			
	こうした緊急事態に遭遇した場合、どの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？			
	長期間の停電や電話の輻輳する、コンピュータシステムがダウンする、取引業者からの原材料の納品がストップするなどのケースについて、代替手段を用意できていますか？			
	社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか？			
計	「はい」の数			

宮城県取組

「みやぎ未来ビジョン」 3.3 地域ぐるみの防災体制の充実への取組

・企業におけるBCP策定など企業の防災対策を支援します

具体的な取組

BCP出前相談の開催

BCPへの理解と必要性、さらに実務としてのBCP策定と運用について、県職員が講師となり出前相談を実施します。

宮城県緊急時企業存続計画作業手順の作成

中小企業庁BCP策定指針を基に、本県の被害想定情報を提供しながら、中小企業者にも取り組みやすい作成例を提供します。

中小企業の経営者自らがBCPを策定運用できるよう、中小企業庁ではBCPに関連するノウハウを盛り込んだ「中小企業BCP策定運用指針」を作成し、平成18年2月20日からインターネット上に公開しています。是非、アクセスしてみてください。

・中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」 <http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/>

宮城県緊急時企業存続計画作業手順

中小企業庁の「中小企業BCP策定運用指針」を基に、より簡易に企業自らBCPを策定していただくための手順と記入シートを用意しました。また中小企業の皆様にBCPのイメージを思い浮かべていただくために、シート記入上のコメント例や留意点も掲載しておりますので、是非、以下のホームページにアクセスして下さい。

<http://www.pref.miyagi.jp/syokeisi/>

【宮城県緊急時企業存続計画作業手順；作成例から抜粋】

自社のBCP策定の目的とは【様式 A】

視 点	内 容
従業員を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県沖地震発生時、事業所内で死傷者を出さない。 ・従業員が被災した場合、会社としても出来る限り支援を行う。
事業の継続・早期復旧に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県沖地震に関連する情報発表時及び突発時の企業存続について、事前に顧客と共通目標を持っておく。 ・突発時、顧客と迅速・緊密に連絡を取り、目標復旧時間達成に努める。
地域の活力を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県沖地震発生後も、従業員全員の雇用を守る。 ・二次災害を防止し、地域に迷惑をかけない。

自社の中核事業と目標の復旧時間を決める【様式 D】

NO	中核事業	事 業 内 容	目標復旧時間
1	Z 部品の製造	A 社向け自動車部品の製造	20 日間で完全復旧
2	Y 部品の製造	C 社向け自動車部品の製造	20 日間で完全復旧

中核事業に必要な経営資源を洗い出す【様式 E】

中核事業	NO	Z 部品の製造	責任者	山形三郎	連絡先
重要業務	左に必要な資源			緊急時確認者名	
製網からのアルミブロックの調達	人	製網担当者		作業サブリーダー	
	資材	アルミブロック		作業サブリーダー	
	機材			作業サブリーダー	
責任者	資金			作業サブリーダー	
	情報	調達のための連絡（電話・メール）		作業サブリーダー	
NC加工機械の稼働	人	オペレーター（従業員A）		作業サブリーダー	
	資材	電力、水道		作業サブリーダー	
	機材	NC加工機材、NC加工データ、工場		作業サブリーダー	
責任者	資金			作業サブリーダー	
	情報			作業サブリーダー	

従業員教育を図る【様式 R】

区分	項目	目標	対象者（本年度）	時期・頻度
教育	BCPに関する社内ディスカッションの実施	社員に対するBCPの意識付け	従業員全員	年間6回開催で、従業員は年間で最低1回は参加。
	BCPに関する取引企業間勉強会の実施	同業他社、団地内でのBCPの協力体制の強化	BCP責任者及びBCP担当者	年1回開催（6月）

お気軽にお問い合わせ下さい。 (H19.11)

宮城県経済商工観光部商工経営支援課 商工経営指導班

〒980-8570 宮城県仙台市本町三丁目8-1 県庁14階

e-mail: syokeisiks@pref.miyagi.jp 電話 022-211-2742 FAX022-211-2749